

科目名	秋田県の歴史と文化	科目分類	■専門科目群（第1グループ） □総合科目群（第2グループ）
			観光学科 □必修 ■選択 学科 □必修 □選択
英文表記	History and Culture in Akita Prefecture	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年
ふりがな	かまだ ゆきお	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中
担当者名	鎌田 幸男	修得単位	2単位
授業のテーマ	近世秋田の歴史と文化の概要を知る。		
授業概要	【授業概要】秋田県の歴史の全体像に触れるが、本講義では、とくに江戸時代以降の歴史と人物と文化に視点をあてて考える。佐竹氏の転封、秋田の物産流通、また秋田を訪ねた文人や紀行家、秋田の偉人、それに民俗芸能などを中心に考えるが、八郎潟の干拓事業と農村にも触れる。そして講義の中で課題発表する（受講人数により変更がある）。また講義の時間内に小テストを1回実施する。		
到達目標	秋田城と久保田城、著名な文人、重要な民俗芸能などの概要説明ができる。		
授業時間外の学習	① 歴史や文化、著名な文人、重要な民俗芸能などに興味や関心を持ち、何か一つを見つけてその概要を調べるようにする。		
履修条件	家の周りや通学途上の道ばたなどから文化財を見つけて調べる。それは授業に役立つ。		
授業計画			
第1回	秋田県の夜明け—米ヶ森遺跡、縄文時代の暮らし、稲作のはじまり。		
第2回	出羽郡と出羽柵と秋田城を考える		
第3回	出羽と平泉文化—清原氏と後三年の役、そして安東とその時代。		
第4回	安東氏の秋田進出とその時代—秋田定着、日本海の手運のこと。		
第5回	佐竹氏の転封と秋田藩—佐竹義宣、久保田城と町割り。		
第6回	鉾山の隆盛と民衆、藩財政を潤した秋田杉、穀倉地帯、油田など。		
第7回	土崎港の賑わい—雄物川を下る秋田の米、能代港、北前船の往来。		
第8回	近代秋田のはじまり—戊辰戦争と明治初年の秋田。		
第9回	みちのく秋田の文化を考える—発表①—菅江眞澄、石川理紀之助		
第10回	みちのく秋田の文化を考える—発表②—佐藤信淵、平田篤胤		
第11回	みちのく秋田の文化を考える—発表③—安藤昌益、小田野直武		
第12回	秋田の祭りと芸能—竿燈、盆踊り、鎌倉、ナマハゲ、綱引きなど		
第13回	戦後の秋田—占領軍の秋田進駐、農村の変貌		
第14回	八郎潟干拓事業とモデル農村		
第15回	まとめ		
第16回	定期試験		
テキスト	講義のときプリントを配布		
参考文献・資料	秋田県の歴史と風土（創土社）、風土と文化（秋田県書店組合）		
成績評価の方法	① 定期試験（60%）、②小テストを実施（20%）、③課題発表（20%）、①②③の総合評価をする。		
成績評価基準	【平成27年度（2015）以前に入学した学生】 優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下） 【平成28年度（2016）以降に入学した学生】 秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）		

	※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。
オフィスアワー	① 火曜日、水曜日（14：40－16：10）②これ以外の場合は事前に連絡すること。
学生への メッセージ	① 図書館には秋田県の歴史や文化、文化財の参考資料がたくさんある。調べてノートに書く。それは知識になると思う。③調べたことは、必ず勉強に役立つ。